

画像診断学・核医学

研究可能テーマ

研究可能テーマ	研究指導者	受け入れ可能院生数
(1) ワークステーションを用いたCT/MRIの高度画像処理に関する研究 現在、画像診断に求められる、疾患の定量的評価や治療効果予測法を学び、特にCTやMRI、FDG-PETを用いた呼吸器疾患における新たな診断手法を開発・研究する。そのため、融合画像やコンピュータ支援診断などの高度な画像処理を修得する。	坂井教授	2
(2) 閉塞性脳血管障害・脳腫瘍・脱髄変性疾患の研究 Xe inhalation CT, functional MRI, MR tractography, MR spectroscopy などの特殊検査法を用いて各疾患の病態解明・治療法への応用に対する研究を行う。	小野教授	2
(3) マルチモダリティによる肝腫瘍の血流解析に関する研究 MDCT, EOB-enhanced MR, Angiography, IVR-CTなどの検査法を用いることにより、肝疾患の血行動態の解明・治療法への応用に関する研究を行う。これらの解析を通して、融合画像、経時的差分画像等ワークステーションを用いた高度な画像処理を修得する。	田嶋准教授	2
(4) 心電図同期SPECTから得られる心機能指標と予後の関連 心電図同期SPECTを用いて得られる心機能指標（収縮機能、拡張機能、負荷時一過性心拡大）と心イベント発症の関連について、これまで当院で蓄積されたデータを後方視的に解析する研究をおこなう。	近藤講師	2
(5) アンモニア(13NH3) PETを用いた心筋血流評価と心臓CTやMRIを用いた形態画像の融合による心病変の病態解析 13NH3PETを用いた薬剤負荷、寒冷負荷による心筋血流の定量評価法を学び、特に心筋症などの不全心についての病態解析を行い、心臓MRIによる遅延造影像、冠動脈CTなどの形態画像と比較検討する。	百瀬講師	2